

g051k

平成 4 年度

# 秋田県環境技術センター年報

第 20 号

(1992)

秋田県環境技術センター

## は じ め に

今日の環境問題は、我々の生活にかかわる身近なことから、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨による森林被害など地球規模の環境問題まで、広範で多様なものとなっており、人々の環境に関する関心も大きな高まりを見せております。

このように環境政策の対象領域の広がりもあって、「地球環境時代にふさわしい新たな努力」を踏まえた「環境基本法」の成立を見たところではありますが、各種の取り組みと同時に、21世紀に向けて環境に対する負荷の少ない持続的な発展の可能な社会が構築できるよう、社会経済システムの在り方や行動様式の見直しが今後の課題とされているところであります。

当センターは、発足以来環境監視や研究部門の中核としてその時々々の環境問題に対し鋭意取り組んで参りましたが、幸い秋田県の環境は、一部の河川・湖沼で生活排水による水質汚濁など日常生活型の環境問題があるものの、全体としては概ね良好な状況で推移しております。

今後も、本県の緑豊かな自然と快適で安心できる生活環境を次の世代に引き継ぐことができるよう、地域の環境問題は勿論のこと、地球環境問題に対しても積極的に取り組んでいくことが私達の責務であると考えております。

このためにも私達の活動に対する関係各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

この年報は、平成4年度に実施した調査研究を中心にその概要を取りまとめ、年報20号として発刊するものです。

なにとぞ本年報をご高覧いただくとともに、ご助言、ご指導を賜りますれば幸いに存じます。

平成6年1月

秋田県環境技術センター

所 長 片 岡 實